



**第90号**  
R6.3.10 発行

■編集・発行  
田彦中学区地域づくりの会・広報委員会  
TEL.029-274-5222 FAX.029-276-1609  
〒312-0063 ひたちなか市田彦950-128  
田彦コミュニティセンター内  
田彦コミセン

背景は、田彦コミュニティまつりの風景

### ニューススポーツ大会

ニューススポーツとは、市スポーツ協会等が普及推進しているレクリエーション的な運動です。その競技による自治会対抗戦を11月19日に総勢119名がモルックとヘルスバレーに参加し、田彦小学校体育館で開催されました。

モルックという円柱棒を投げて点数が書かれた12本のスキットル(棒)を倒す。決められた点数丁度に早く到達したチームが勝ちなので作戦も必要となります。

ヘルスバレーボールとは、直径が90cmの楕円形のボールを打合うさまが、面白くもあり、熱血感もあり、つい引込まれてしまう競技です。

白髪の男性も、髪を後ろに束ねて女の子も頑張った。表彰式に整列したみんなが笑顔で顔を上げていました。

優勝は、堂端自治会、二位は、同点で田彦西と田彦東自治会となりました。

ニュースポーツガイドブック | ひたちなか市公式ウェブサイト (hitachinaka.lg.jp)

### 蕎麦打ち教室

地域づくりの会

コロナ明け4年ぶりの料理教室は、年越しに向けての蕎麦打ち教室が開催されました。

教室募集の案内をしたところ、想定以上の応募があり午前と午後の2回に分け開催されました。

初めての方も多く、講師からの粉の扱いや手順の説明につづき、実演。参加者から多くの質問がありました。実演の後は、それぞれに分かれ実際に自分たちで蕎麦打ちにチャレンジ。その様子は真剣そのもので、会話が弾み楽しそう。出来た蕎麦は、それぞれの家に持ち帰りその晩の蕎麦談義。楽しかったと皆さんが感想を述べていました。

### 楽しかったJR見学会

文化部会

1月13日、昨年に引き続きJR勝田車両センターのご協力を得て同センターの見学会を開催しました。

参加した小中学生は保護者同伴を含め48名参加。記念カンパチをもらい嬉しそうでした。

最初に諸注意や見学コース説明があり、待ちかねていた整備場へ案内され、そこから電車に乗り洗車場へと進行。洗車を車内から見学しました。電車は洗車機の中を通るときに洗剤を吹きかけられ引き返したときに水洗いと風力水切り。その後運転台に座らせても

### 募金活動について

この度の令和6年能登半島地震により被災された皆様にお見舞いを申し上げます。被災地域の速い復興を心よりお祈り申し上げます。

田彦中学区地域づくりの会および田彦コミュニティセンターでは、「令和6年能登半島地震災害」義援金、募金活動を行いました。地域の皆様や田彦コミュニティセンターご利用の方々から多くの募金協力をいただき誠にありがとうございました。

2月25日時点で103384円の募金がありました。お預かりした義援金は「日本赤十字社」を通じて、被災地の皆様へお届け致します。



大島公園西自治会  
光陽子 会長 磯野 朋子  
令和5年、コロナウィルス感染症が5類に移り、自治会や子供会の活動にも変化があった1年となりました。秋季運動会、ニュースポーツ大会、子供会としては野外活動によるバスツアー等、4年ぶりに開催される行事に子供たちのたくさんの笑顔を見ることができました。

秋季運動会は、まさに4年ぶりの開催。競技種目や開催時間が見直された中、大いに盛り上がりました。私自身も4年前には子供たちと一選手として、そして今回は子供会会長として前回とは違う視線から参加させていただきました。

そこには参加した子供たちが喜び、はしゃぎ、満面の笑みで走ってくれる子供たちは、地域の繋がりを継承していく宝です。

今後も世代を超えた繋がりを大切に協力し合えるまちづくりを担っていただければと思います。

### 自治会活動を顧みて

西大島自治会 鹿志村 一

この度の寄稿 依頼を受けまして、改めて皆様への投稿記事を読ませていただき、多くの方々から自治会行事に参加し、楽しんでいただくことが拝察されました。

以前、この西大島地区は、農家が大半でした。家々が互いに手助けして田植えや稲刈りを行い、秋には現在の浜道公園で部落対抗の運動会が行われ、周囲には沢山の屋台が出て、締めめやイカ焼きなどを買って貰った楽しい子供の頃を懐かしく、思い出されます。

当時と比べますと、今は多くの家が建ち並び、農家もなく、生活形態も様変わりしました。西大島自治会でも、多くの方々の参加を得て、内後公園の除草や集団パトロールなどを続け、生活環境の向上に努めておりますが、住民意識の変化により会員の減少や規範意識の低下によるごみの投棄など、多くの課題もあるのが現状と言えます。自治会が無かつたらどうでしょうか。資源回収などはどうなるでしょうか。防犯灯設置等による地域の安全・・・。

一方、自治会の活動が住民の負担になっていないのか。そんな思いが致します。

### 無限ループ

堂端自治会 横山 聖

この地に新居を構えて早5年。長女が生まれ充実した毎日を過ごしています。休日は、近くの公園に足を運んだり、お気に入りのお散歩がてらウォーキングしたりと日々を悠々過ごしています。

最近寒くて行けていませんが、「大島公園」が娘のお気に入りスポットです。すべり台やブランコで遊んだり、野鳥を見ながら池の周りを歩いたり、これがとても楽しい。ですが、一度遊具で遊びだすと「もう一回！」の無限ループが始まります。「これで最後ね」「うん」「おうちに帰るよ」「もう一回」この繰り返しです。リフレッシュのつもりが逆に疲れてしまうこともありませんが、娘が楽しそうならそれでよしなのだと思います。これからの遊び場をどんどん開拓し、家族と楽しい思い出を作りたいと思います。

### 私の大切な思い出

田彦東自治会 堀江 祐美

9歳の時に田彦地区に引っ越ししてきて以来、ここで過ごしてきました。今では、私が卒業した

学校に自分の子どもたちが通っており、学校に行くたびに懐かしく色んな思い出が蘇ります。

保護者の立場になり、幼稚園や学校、地域の行事に参加するようになって、たくさんの方と交流する機会をいただきました。その中でも印象的だったのが、青少年部会のみなさんとの活動でした。小中学校の頃に毎年楽しみにしていたキャンプがあり、そのキャンプを主催してくださっていたのが、青少年部会の方たちだということを知りました。あの時作ったカレーや話したことを覚えています。今でも友達との話題になったりして私の大切な思い出となっています。子どもたちもそんな思い出をここで作って、色んな経験をしてほしいと思っています。

### 地域活動に参加してみよう

田彦西自治会 牛木 洋一

田彦に住み約18年、新居を建てたタイミングで自治会に加入して10年程たちます。近所の方の紹介で現在は体育部会と田彦西公園応援隊の活動をしています。

私が地域活動へ参加してみている感想は、幅広い年齢層の方や異業種の方の関わりを通じて多くの知識や間接的な経験が積めることです。また仲間と行事を計画し、参加された方が「楽しかった」と言うことで、新型コロナウイルスで行動制限された時や東日本大震災の時も周りが出来ました。これら地域の絆・仲間は私の大切な財産です。

様々な価値観の多様化で地域のつながりが希薄になりつつある昨今ですが、特に自治会離れが顕著な若年層に向け、まだまだ若手の私などが「なんか面倒くさそう」とから「やってみると楽しい」と魅力や伝え、地域の活性化、持続可能な自治会活動に微力ながら貢献していきたいと思っています。

### 編集後記

新型コロナウイルス感染症が昨年5月より5類に移行され、それに伴い従来の行事・催し物等が徐々に復活し、地域全体に明るさと活気が戻って来たと思います。

令和6年は、地域での行事・催し物等が多く実施され、地域コミュニティが活況で活発になる事を願っています。

本紙に寄稿くださった皆様に感謝申し上げます。(橘)

編集委員  
小林克也 池田 寛 新原正行  
阿部憲司 古賀久美子 大貫 勉  
菅原順子 中村博文 橘 久吉



# 第30回 コミュニティまつり

開催日 11月11・12日(土、日)

好天に恵まれ延べ1,031名の来場

作品の出展者人数180名、作品323点の展示

オープニングセレモニーは、全員によるクラッカーでの幕開け僕の作品が展示されている。ばあちゃんとじいちゃん、パパ、ママと妹、家族で鑑賞会。

中庭の抽選会では、当り…。僕と妹は、ポップコーン、綿あめと子供遊び。ママは、野菜売り場へ。パパは、焼き鳥。じいちゃんは、豚汁と赤飯。ばあちゃんは、シクラメンやパンジー。楽しい日でした。

ご来場いただきました皆さまへ。今年の秋も待っています。楽しい企画準備中。

田彦コミュニティまつり  
賛助いただきありがとう  
ございました(敬称省略)

永井大貴, 高橋慎二, 勝村和男,  
遠藤洋子, JR勝田車両センター,  
家庭倫理の会ひたちなか市,  
樫村畜産, 河童